

2026年5月9日(土) 山国川・耶馬溪ガイドブック

竹村・立石・甲斐

9:00：集合・出発：別府（鉄輪地獄公園）自動車台数調整（トイレ）

東九州自動車道移動

10:00：合流（イオンモール三光・中津）（立石・北九州からの参加者）（トイレ）

Stop 1：福岡県上唐原

① 6500万年～1億年前の花崗閃緑岩

国道212号線と福岡県道16号線に挟まれて、山国川とほぼ平行に両道が続いている。進行方向右側に後期白亜紀(新期領家花崗岩類)約6500万年～1億年前の花崗閃緑岩がある。豊後地域周辺の深成岩と変成岩のフィッシュン・トラック(F T年代)測定の結果では、7400万年～9000万年前との報告がある。この地域の周辺には石材屋さんが多いのも、この花崗岩のおかげである。



河岸の花崗岩（上唐原）

Stop 2：三光野路の斧立神社対面付近

② 非溶結状態の阿蘇4火砕流推積物

阿蘇火山の先カルデラ火砕流のうちもっとも新しい阿蘇-4にあたり、約9万年前の噴出物である。この火砕流堆積物は三光臼木より北方では認められない。この野路付近では火砕流堆積物がアバットの形で重なっている露頭が見られるが、中津台地では阿蘇火砕流堆積物に対応する火砕岩質層は認められない。



非溶結の阿蘇4火砕流推積物

Stop 3：めがね橋(耶馬三橋)の耶馬溪橋

③ 耶馬溪橋は「我が国唯一の8連石造アーチ」

山国川中流の本耶馬溪町に架かる県指定有形文化財「耶馬溪橋（別名：オランダ橋）」と「羅漢寺橋」、および耶馬溪町に架かる市指定有形文化財「馬溪橋」は「耶馬溪三橋」として知られている。

耶馬溪地区には加工しやすい耶馬溪火山岩類の角礫凝灰岩からなり、山国川にも支流を含め数多くの石橋が架けられている。



耶馬溪橋（橋長116.0m）

Stop 4：青の洞門・競秀峰（トイレ）

耶馬溪火山岩類（溶岩および火砕流）

④ 青の洞門と競秀峰

国道 212 号線の沿いの山国川右岸（本耶馬溪町青）に、世界で最初最長の手掘りトンネルがある。禅海和尚が溶岩と凝灰角礫岩の岩壁を 30 年かけて掘りぬいて造った「青の洞門」である。

450～560 万年前の更新世～後期鮮新世の火山活動による噴出物で耶馬溪火山岩類（溶岩と火砕流）からなる。この堆積層が浸食作用を受け、青の洞門の上にそそり立つ競秀峰等を形成し典型的な集塊岩の風景を呈している。



青の洞門とその上に
そそり立つ競秀峰

Stop 5：めがね橋(耶馬三橋)のうち羅漢寺橋)

橋間が長く優雅な 3 連石造アーチ橋

⑤ 羅漢寺橋…橋間が長く優雅な 3 連石造アーチ

山国川中流の本耶馬溪町に架かる県指定有形文化財「耶馬溪橋（別名：オランダ橋）」と「羅漢寺橋」，および耶馬溪町に架かる市指定有形文化財「馬溪橋」は「耶馬溪三橋」として知られている。



羅漢寺橋（橋長 89.0m）

耶馬溪地区には加工しやすい耶馬溪火山岩類の角礫凝灰岩からなり，山国川にも支流を含め数多くの石橋が架けられている。

Stop 6：三日月神社と河跡湖

⑥ 三日月神社と河跡湖

「七仙橋」より数m上流の左側に山国川が河道変遷をしながら川幅を広げてきた跡を示す河跡湖がある。

「三日月神社」が祭られている低地面には写真の様に河道変遷の跡が明瞭に残っている。



三日月神社横の河跡湖

Stop 7：めがね橋(耶馬三橋)の馬溪橋

⑦ 馬溪橋…橋脚が高く見栄えがする 5 連石造アーチ橋

耶馬溪の石工である甲斐伊蔵により架橋され、「雨でも流されない永久橋を架ける」ために、様々な努力と決意を重ねている。石材は加工しやすい耶馬溪火山岩類（凝灰角礫岩）からなり，山国川支流を含め数多くの石橋が架けられ



馬溪橋（橋長 82.6m）

ている。

「雨でも流されない永久橋!!」

平成 24 年(2012 年)7 月, 2 度にわたり九州北部を襲った豪雨は, 中津市耶馬溪地区などに大きな被害をもたらした。橋に流木などが引っ掛かりダム化し, 地区では合わせて約 40 世帯が床上・床下浸水の被害を受け, 写真のように橋も欄干が流失し, 石積みの橋脚にひびが入ったため通行止めになった。



損傷した橋脚と流失した欄干（馬溪橋）

《国内に現存する橋長 5 傑》

1 位 耶馬溪橋（大分県本耶馬溪町）	橋長 116.0m, 大正 12 年建
2 位 霊台橋（熊本県下益城郡）	橋長 89.9m, 弘化 4 年建
3 位 羅漢寺橋（大分県中津市本耶馬溪町）	橋長 89.0m, 大正 9 年建
4 位 馬溪橋（大分県中津市耶馬溪町）	橋長 82.6m, 大正 12 年建
5 位 長瀬橋（大分県豊後大野市）	橋長 78.4m, 大正 12 年建

Stop 8 : (山国川 4 の Stop2) 頼山陽の擲筆峰の景（筆擲の景）

（中津市耶馬溪支所）（昼食&トイレ）

耶馬溪火山岩類

⑧ **擲筆峰**（頼山陽記念碑）→耶馬溪火山岩類（溶岩および火砕流）

「此の山に至り筆を投じて嘆ず」「嗚呼造物奇怪, 画手亦写し至らざるものあり」とし, 頼山陽が筆を置いた景勝地である。頼山陽の詩碑が立ち, 頼山陽祭が行われている。



流失した頼山陽の碑



擲筆峰の景



頼山陽も嘆く現代版の嗚呼造物
奇怪コンクリートの景

Stop 9 : (山国川 5 の Stop1) 耶馬溪ダム (トイレ)

⑨ 耶馬溪ダム (重力式コンクリートダム)

耶馬溪ダムは洪水調節、流水の正常な機能の維持、水道・工業用水の供給ならびに発電を目的として建設された多目的ダムである。

建設省(現国土交通省)が総事業費約 450 億円を要して建設される。昭和 60 年 3 月竣工。高さ 62.0 メートルの重力式コンクリートダムで、中津市のみならず、福岡県北九州市及び京築地域の水がめとして重要な位置を占めている。



耶馬溪ダム

Stop 10 : (山国川 5 の Stop 2) 深耶馬溪一目八景 (トイレ)

耶馬溪火砕流堆積物

⑩ 深耶馬溪一目八景→耶馬溪火砕流堆積物 (溶結凝灰岩の 8 つの岩峰景と柱状節理)

県道 28 号線 (森耶馬溪線) の山移から鹿倉峠までの通称深耶馬溪一帯と山移川に合流する折戸川、奈女川地域の折戸、奥山、錦雲峡、大谷溪谷などを総称して「深耶馬溪」と呼ばれている。

この山々の台地は約 100 万年前の新生代第四紀に猪牟田カルデラから噴出した耶馬溪火砕流堆積物で、川沿いの溪谷で狭い谷に溶結凝灰岩や凝灰角礫岩からなる絶壁や石柱が屏風のように連なる。



群猿山 (ぐんえんざん)



群猿山中腹の見晴らし台

また、この台地には風食作用や河川の洗堀作用によってできた洞窟も多い。

1818 年 (文政元年) に頼山陽がこの地を訪れ、当時の「山国谷」という地名に中国風の文字を宛て、「耶馬溪天下無」と漢詩に詠んだのが、耶馬溪という名前の起こりとされている。

耶馬溪の代表的な景勝地であり、群猿山、鳶巣山 (鳶ノ巣山)、四手ノ尾、夫婦岩、雄鹿長尾の峰、烏帽子岳、仙人岩、海望嶺などの周囲の岩峰群が、一目で八景を一望で



見晴らし台から見上げた石柱

きることから名づけられた。



「一目八景」の展望台より

Stop 11：道の駅 耶馬トピア （トイレ&買い物、風物館見学）

① 道の駅「耶馬トピア」

道の駅「耶馬トピア」は、国道 500 号沿いの史跡「青の洞門」と「羅漢寺」の中間に位置する。併設の耶馬溪風物館では耶馬溪の文化に触られる。

また、周辺の景観は青の洞門、羅漢寺や古羅漢を形成している耶馬溪火山岩類の状況を見渡せる。



耶馬トピア周辺



駐 車 場：普通車 83 台、大型車 5 台、身体障害者用 3 台、EV 用 2 台

ト イ レ：耶馬トピア内 4 箇所（駐車場、レストラン内、風物館前、風物館内）